

月刊 社会保険 2

2021 VOL.847

一般社団法人
全国社会保険協会連合会

年頭所感 厚生労働大臣 たむら のりひさ 田村 憲久
ごあいさつ 日本年金機構理事長 みずしま としひさ 水島 藤一郎
新年を迎えて 全国健康保険協会理事長 あんどう のぶき 安藤 伸樹
令和2年度 厚生労働省第3次補正予算(案)のポイント
令和3年度 厚生労働省予算案のポイント
全世代型社会保障改革の方針
新子育て安心プラン
介護報酬改定について

年頭所感	厚生労働大臣 田村 憲久	2
ごあいさつ	日本年金機構理事長 水島 藤一郎	4
新年を迎えて	全国健康保険協会理事長 安藤 伸樹	5
令和2年度 厚生労働省第3次補正予算(案)のポイント		7
令和3年度 厚生労働省予算案のポイント		8
全世代型社会保障改革の方針		10
新子育て安心プラン		14
介護報酬改定について		16
年金・健康保険委員活動報告 社会保険委員としての活動について	近江織物株式会社総務部部长 村上康彦	18
アマリストがいく!! ピンチをチャンスに変える謝罪術		
第10回 謝罪によって「見えないこと」を見えるようにする	株式会社クロスリバー代表取締役社長 越川 慎司	20
日本とは異なるイタリアの生活事情 第10回 イタリア人の生活になくてはならない「ジェラート」	イタリア在住ジャーナリスト 茜ヶ久保 徹郎	22
書評 宇野 重規 著 「民主主義とは何か」		24
認知症とともに生きる家族の物語 第10回 認知症の祖母が残してくれた「贈りもの」	NPO法人ハート・リング運動専務理事 早田 雅美	25
認知症を予防する③ 第10回 高齢期の栄養学・菜食主義と骨折リスク/ココア/レジスタントスターチの健康効果	お茶の水健康長寿クリニック院長 白澤 卓二	28
社会保険Q&Aシリーズ 健康保険編 30/年金保険編 32/介護保険編 34/労働保険編 36	特定社会保険労務士 鈴木 ひろみ	

表紙写真・竹内敏信/イラストレーション・水森亜土/デザイン・編集協力・(有)フェイム/印刷・(株)エイエヌオフセット

表紙のことば——竹内敏信 「光の響」「春近し」

千葉県 富津市



日本列島は、1月下旬から2月の上旬が一番寒いといわれている。そのためこの季節は外に出るのも憂鬱になることだろう。もちろん木々や植物、動物や昆虫も春を待ちわびている。しかし、この寒い時期がとても重要である。木々は枝を休めて、動物は冬眠する。

生きることに最も大切な季節ともいえる。そのためわれわれもからだを休めて、暖かい春を迎えたら、自然の変化をやさしく迎えようではないか。そうすれば風景もそれに答えてくれ、これからは美しい日本列島が残っていくのである。

社会保険委員としての活動について



近江織物株式会社総務部部长
村上 康彦

●地域の紹介

滋賀県は日本のほぼ中央にあり、北は福井県、東は岐阜県、南東は三重県、西は京都府と接しています。県の中央に位置する琵琶湖が有名です。最近では自転車での琵琶湖を1周する通称「ビワイチ」をされる人が多くなっています。琵琶湖1周は、約200kmあります。

東近江市は県の南東部に位置し、鈴鹿山系から琵琶湖岸までの東西に長い地域です。

弊社の所在地東近江市五箇荘町は、近江商人発祥の地・てんびんの里として広く知られています。白壁や舟板塀の蔵、屋敷や優雅な庭園、錦鯉が泳ぐ水路などが町内のいたるところで見られます。

●社会保険委員として

私は前任者の職場移動に伴い、平成10(1998)年から社会保険委員として活動しています。当初はなにもわからず、先輩方に教えてもらいながら参加していました。委員会等いろいろな行事に参加して他の委

●委員活動について

員との交流により、少しずつですが委員の役割も理解できました。

委員になって20年余り、本来の役割である事業主をはじめ被保険者やその家族と年金事務所・協会けんぽとを結ぶ「パイプ役」として、一層努力していかねければと思っています。

社内では社員の健康管理として、定期健康診断および生活習慣病予防健診を実施し、協会けんぽの保健指導も行っています。最近では、特にメンタルヘルスについても、ストレスチェックに基づいて積極的に取り組んでいます。

年金制度については技能実習生に入社時に説明していますが、理解してもらおうのに苦労しています。また、退職時の脱退一時金制度についても何度も説明していますが、帰国してからの手続きができていない不安になります。

今年は今まで経験したことのない新型コロナウイルス対策について、出社時の体温チェック、アルコール消毒、マスク着用や飛沫感染予防等、試行錯誤しながら対策を講じています。

滋賀県社会保険委員連合会は、3委員会(大津地区・草津地区・彦根地区)で構成されています。

私の所属する彦根社会保険委員会の活動は、6月に定期総会を行い、2月頃に社会保険委員事務講習会を開催しています。その他、役員研修も行っています。

滋賀県社会保険委員連合会の活動については、11月に社会保険委員大会を開催しています。大会開催時に健康測定会を実施し好評を得ています。

今年、第57回大会を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、役員会で検討した結果、残念ながら中止と決定しました。

大会の中で行っていた優秀社会保険委員の表彰式は、規模を縮小して開催しました。永年にわたり委員として活動されてきた方々には少し寂しい表彰式となり、申し訳ございませんでした。来年は盛大に社会保険委員大会が開催できるように願っています。

ほかにも視察研修(委員会合同で

実施)や委員大会時の大津・草津・彦根合同事務講習会を開催しています。

このほか、和歌山県、奈良県、滋賀県の3県で年に1度、会長・副会長合同会議を持ちまわりで開催しています。

●事業所紹介

私が勤務する近江織物株式会社は、安政3(1856)年の創業以来、織物の企画・デザインから製織・整理加工およびその販売を一貫して行っています。

織布部・加工部・営業部の3部門があります。

織布部は、150余年にわたって培われた経験と実績を活かし、綿・麻・合織を主に製織を行っています。

高度な技術が必要とする合織短繊維の特殊用途のユニフォーム用素材をはじめ、綿・合織織物の完成度の高い製品づくりをしています。

加工部は、多様化する市場への素早い対応を目指し、当社独自の染色整理技術を生かした感性豊かな布を製造しています。綿・麻を主に、あらゆる織物の染色整理加工に対応が可能です。

営業部は、綿・麻などを中心として、衣料から資材までオリジナリティーのある織物を、企画から製織、整理加工まで一貫して製造販売を行っています。また、インクジェットプリントの豊かな表現力を生かした総合素材の提案を行っています。

●おわりに

健康保険や年金制度は、セーフティネットとしてなくてはならないものです。社会保険委員として制度をよく理解し、皆様から信頼されるよう努めてまいります。

コロナ禍の中、社会情勢・生活環境が一変して、皆様も大変苦労なされていることと思います。感染防止の3つの基本「身体的距離の確保、マスクの着用、手洗い」を1人ひとりが実践し、感染防止に努める必要があると思います。

新型コロナウイルスが1日でも早く収束して、皆様が安心して暮らせる生活環境になりますように願っています。

(滋賀県社会保険委員連合会会長 彦根社会保険委員会会長)



近江織物株式会社